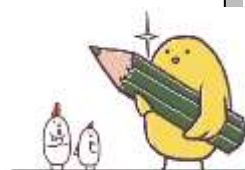
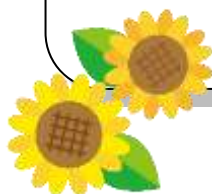


68 期生

2年生学年だより

豊中市立第五中学校 2020年7月27日(月) No.9



1学期期末テスト講評

教科	テストコメント
理科	今回のテストは大問1, 2地震、大問3火山、大問4, 5地層、大問6, 7動物のなかま分け、大問8細胞、大問9, 11消化、大問10肺からの出題でした。範囲がとても広くありましたが、まんべんなく出題しました。テスト前に学習が間に合わなかった人も多かったように思いますが、全体的によく頑張っていたように思います。ただ、昨年度に引き続き漢字のミスが目立ちました。白プリアノート、実験の内容など漢字も含めて確実に覚えていきましょう。あと、テスト前に追われないように日々の学習(復習)をしっかりとこないましょう。
英語	今回のテストは、1年生の復習問題も多くあり、範囲も幅広く出題したので、難しいと感じた人も多かったと思います。英語は積み重ねの教科なので、1年生の学習内容がきちんと頭に入っていないと、2年生の学習内容を理解しにくいです。返却されたテストを見直し、夏休みにもう一度1年生の分野も含めて復習しておいて下さいね。また出題の多くは、文法プリント、白プリント、ワークなど、日々、みんなが取り組んでいたものから出題しました。答えを丸写ししているだけでは、力はずきません。時間がかかってもよいので、まずは自分で解いてみましょう。次回は勉強の仕方をいろいろ工夫して、自分が納得いくまで頑張ってみてくださいね。
数学	今回は②・③が知識・理解、①・④～⑦が数学的な技能、⑧～⑬が数学的な見方・考え方の各観点の力を測る問題でした。数学的な見方・考え方を測る後半の出来具合には課題がありました。他はできているけど後半が…という人は基本的な力はあるけど、活用力・応用力に課題ありということです。問題集のできなかった問題をできるまで粘り強く取り組んでいますか?前半からできていなかったという人はまずは基礎的な計算力から身につけるために、授業中の例題に対してていねいにマネをして自分でできるように一歩ずつ取り組んでいきましょう。今回は問題集・白プリントと同じ問題が多数出題されていました。間違えた問題・できなかった問題をできるようにするのが勉強。自分の課題を再確認し、粘り強く取り組んでいきましょう。

<p>国語</p>	<p>点数だけを見ると、1年生のころからあまり変わっていないように見えますが、授業で出す問題とその答えをほとんど告知していたにもかかわらず、それを有効に活用した人があまりにも少なかったです。毎回のテストで、学習した範囲が変わることと、漢字が複雑化していることを差し引いても、授業内容を中途半端に扱っていた人がたくさんいたという事実は変えられません。そもそも、国語の勉強は何も考えずに問題集を解くことではありません。字の練習にしかならないからです。漢字をひたすら書くことも同じです。日常生活の中にたくさんの勉強が隠れています。それを見逃していることに気づいていないのと、人（先生）の話を聞き流していることが非常にもったいないと感じます。字の練習は国語の勉強にあらず。時間をかければいいものでもありません。正しい知識を正しく出すこと。それが一番の勉強です。</p>
<p>社会</p>	<p>全体を通してよくできていたと思います。</p> <p>これからがんばってほしいのは、やはり漢字です。「徒然草」の「徒」、「排他的経済水域」の「排」、「海溝」の「溝」など、書き間違いが多かったです。漢字が違くと正解にはなりませんので、社会科の用語は漢字で書けるように練習しておきましょう。</p> <p>また、記号で答える問題を、語句で答えていた人も多かったです。問題文を最後まできちんと読み、どのように答えればよいかをきちんと確認するようにしましょう。</p>



